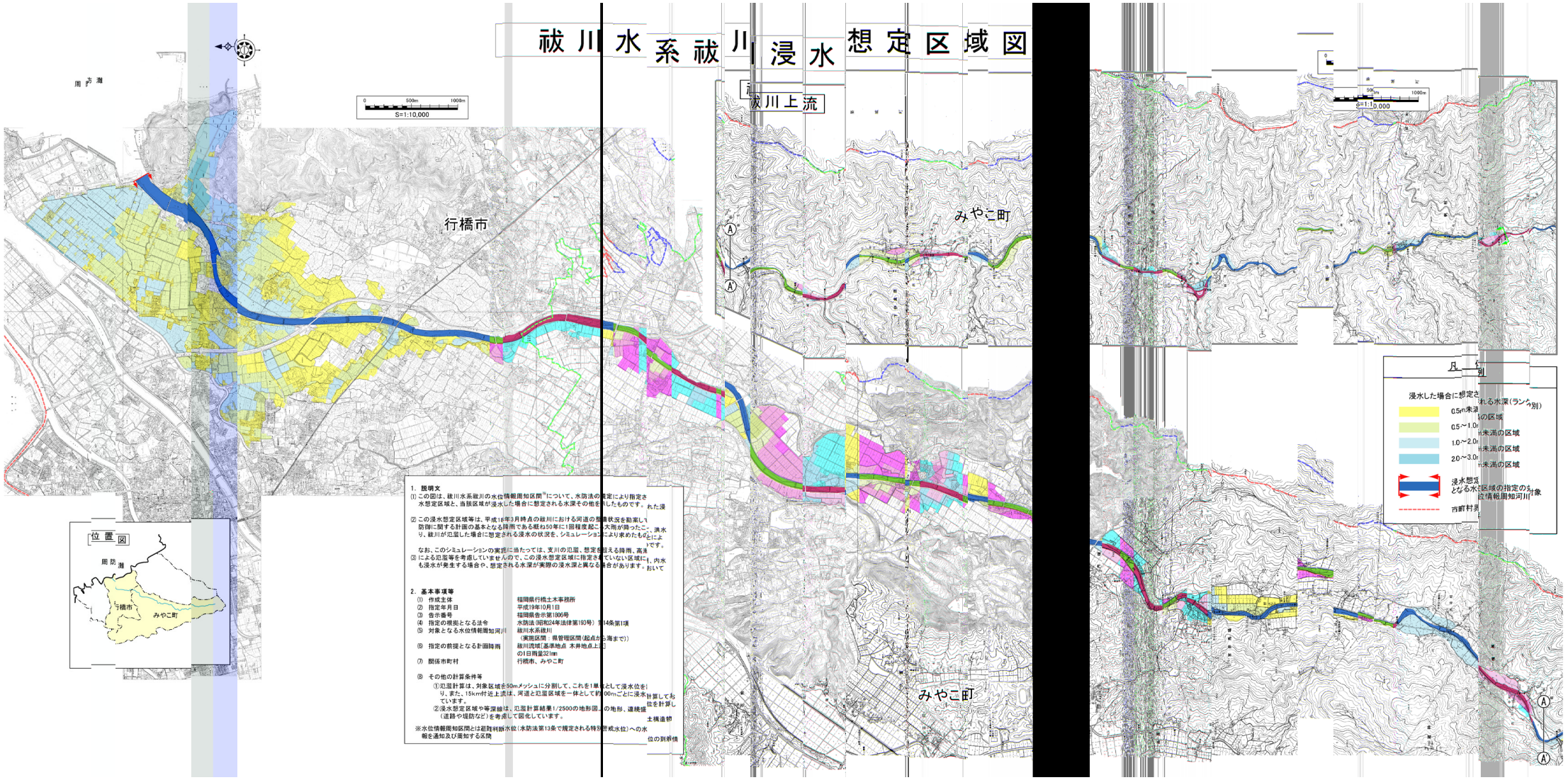
祓川水系祓川浸水想定区域図

祓川上流



1. 説明文

(1) この図は、祓川水系祓川の水位情報周知区間※について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を表示したものです。

(2) この浸水想定区域等は、平成16年3月時点の祓川における河道の整備状況を勘案し、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったこと、洪水により、祓川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものによります。

なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、高潮による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域にも、内水も浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。おいて

2. 基本事項等

(1)	作成主体	福岡県行橋土木事務所
(2)	指定年月日	平成19年10月1日
(3)	告示番号	福岡県告示第1806号
(4)	指定の根拠となる法令	水防法(昭和24年法律第193号) 第14条第1項
(5)	対象となる水位情報周知河川	祓川水系祓川 (実施区間：県管理区間(起点から海まで))
(6)	指定の前提となる計画降雨	祓川流域[基準地点 木井地点上流] の1日雨量321mm
(7)	関係市町村	行橋市、みやこ町

(8) その他の計算条件等

①氾濫計算は、対象区域を50mメッシュに分割して、これを1単位として浸水位を計算しており、また、15km付近上流は、河道と氾濫区域を一体として約100mごとに浸水位を計算しています。

②浸水想定区域や等深線は、氾濫計算結果1/2500の地形図上の地形、連続堤（道路や堤防など）を考慮して図化しています。土構造物

※水位情報周知区間とは避難判断水位（水防法第13条で規定される特別警戒水位）への水位の到達情報を通知及び周知する区間